

掲 示 板

専門講習会「テキストデータ作成コース」開催

毎日新聞大阪社会事業団との共催で開催する書籍等のテキスト化の講習会です。OCRソフトを使用し、誤字・脱字のないテキストデータを作成する技術を習得します。

日時 ①9月18日(水)13～16時、25日(水)12～16時、②10月18日(金)13～16時、25日(金)12～16時（①と②は同じ内容）

受講料 1,200円 定員 各回10人

講師 数又幸市(当館製作部長)

対象 日常的にWindowsパソコンを使用し、マウスでの操作や、ファイル管理ができる方。

申込 当館HPから要項・申込書をダウンロードし、8月20日(火)必着でお申込みください。

問合せ 当館電子書籍係(電話06-6441-1035)

専門点訳講習会「はじめての理数系教材点訳コース」シンポジウム開催

当事者・ボランティア・支援者それぞれの経験談を元に、理数系点字教材の在り方について考えるシンポジウムです。理数系点字教材に関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。

日時 9月14日(土)13時～15時

登壇者 澤田祐子氏(当館点訳ボランティア)、
花房朋樹氏(点字情報技術センター職員)、他

受講料 無料

定員 会場40人、オンライン(Zoom)20人

申込 当館点字製作係(電話06-6441-1028)へ実施要項をご請求の上、8月30日(金)必着でお申込みください。

友の会の施設見学会を11月に開催

例年行っているボランティア友の会世話人会の施設見学会を今年度も11月に開催。今年は大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」を見学します。詳細は次号に掲載予定です。

8～9月の休館・休室について

【8月】

8日(木)＝サービス部休室(書庫・在庫整理日)

10日(土)～15日(木)＝全館休館(夏期休館)

サービス部は16日(金)まで休室。

22日(木)午後12時以降＝全館休館(職員全体会)

【9月】

14日(土)＝6階・7階・電子書籍係は休室(敬老の日の振替)。 ※点字製作係は開室。

21日(土)＝製作部休室(22日の祝日の振替)

サービス部休室＝12日(木)・17日(火)・24日(火)

拡大掲示板 を3頁に掲載。ぜひお読み下さい。

※本号は合併号。次号の発行は10月1日です。

「ほんま、人より目が悪いだけの大阪のおっさんなんで」

利用者インタビュー① にほんまつけいじ 日本松啓二さん

JRPS(日本網膜色素変性症協会)大阪の代表を務め、さまざまな視覚障害関係の会に所属している日本松さん。さばけた性格と飄々とした雰囲気、障害の有無に関わらず、たくさんの人たちと交流しています。そんな日本松さんの半生を伺いました。(館長 久保田 あや 文)

やんちゃな悪ガキからスポーツ少年に

生まれたんは大阪の玉造です。子どもの頃は、自分で言うのもなんやけど、近所で誰かが泣いたら全部俺のせいみたいな(笑)。泣き声が聞こえたら、「おら～啓二、お前か～!」「違う～!」って。学校から帰ったら玄関にランドセル投げつけてすぐ遊びに行く。小学校の時は親にも先生にもどつかれたし、家にも来られたし。でも体育と歌うんだけは、なんかよかったです。体育は皆の前で見本してましたね。

中学の時に、バドミントンを始めました。練習は厳しかったですけど、そこでコロッと変わったかな、性格が。真面目にスポーツやりだしたからね。大阪大会でメダルも取りました。

高校は、近所の工業高校に行きました。免許取ってオートバイばかりいじってましたね。設備工業科っていう、当時、近畿ではそこにしかない珍しい学科で、建物のエアコンとか水回りとか電気周り以外の全般を学んで、建設関係の会社に就職しました。

ビル管理のプロとして定年まで勤務

就職してから、バドミントンの社会人チームに入ってキャプテンもやってたんですけど、やっぱりこの目がね、悪かったんでしょうね。「なんでこんなにシャトル見えへんのやろな、動体視力が悪いんか?」と思ったのが32歳頃。

仕事で図面見るのもちょっとぼやけてきて、現場監督やのに怪我したらシャレにならんので、42歳の時、会社に言わんと身障者手帳を申請したんです。そしたらいきなり2級でね。

ネットでJRPSを知って、入会して情報をもろうと、「使える福祉制度がいろいろあるじゃないか!」って。

会社では、拡大読書器を入れてもらって、



「この字のニホンマツは少ないんです」と日本松さん

最初はそれで仕事ができるけど、やっぱり見えなくなってくるじゃないですか。そしたら部署を変えてもらったり、音声パソコンを入れてもらったりね。こっちから「こうしたらこういうことができます」って言ったら、それなりの配慮をしてくれました。最初は現場の施工管理だったんですけど、目が悪いのが分かってから、ビルの点検とか警備をやってる維持管理部門に。その後は総務に移って、環境サービス部にも行って、それから維持管理に戻りましたね。この3月末に65歳で定年。今はサンデー毎日(笑)

趣味も、仲間との活動も

タンDEM自転車を始めました。風を切ったら気持ちいいじゃないですか、「体を動かしてるぞ」って感じで。島根や静岡も走ったし、今度、タイに走りに行きます。

JRPS大阪は代表になって12年目です。ぼちぼち誰かに代わってもらわなあかん。高齢化で、かつ若い子が入ってこないの、僕が入った時は300人以上いたけど、今は200人ちょっと。

情報文化センターでは、グッズサロンで白杖作ったり、体重計を買ったり、いろいろ使ってもらってます。本は、プレクストークを持っているんで、サピエでダウンロードして読んでいます。点字は習い始めた頃にコロナ禍に

なってね、オンライン講習になったんだけど、ネットがうまく繋がらなくて、1回やめたりするとついていけなくなったりで。まあ数字はわかるから、それだけでもええか！みたいな。

最後に余談ですけど、多分ね、目が悪くならなかったら、今頃、病気になって死んどんちゃうかって。見えてたら結構イケイケでやんちゃしてた方やから、それが抑えられたんちゃうんかなって、たまに思います。まあ、今この歳になってですけど(笑)。人よりちょっと目が悪いからどんくさいけど、他は変われへんのでね。



インタビューの様子。左が久保田

ー時に爆笑し、時にしんみりしながら、あつと言う間に時間が過ぎました。

日本松さん、ありがとうございました。

点字と共に生きる私～入職のご挨拶

製作部点字製作係 かわしまけんた 川嶋健太



皆様、はじめまして。6月16日付けで点字製作係に勤務することになった川嶋健太と申します。この3月に静岡県の大学を卒業し、就職活動をしておりましてところ、縁あってこちらへ来ることになりました。趣味は津軽三味線と民謡です。どうぞよろしく願いいたします。

私と点字のかかわりについて少し書いてみたいと思います。

「点字」と聞いてまず思い出すのは、高校1年の時に亡くなった祖父のこと。私が全盲だとわかると、盲学校を訪ねて点字を学び、童話、

各地の民話、絵本、小説等たくさんの本を点訳してくれました。点筆で一点一点書かれた本は、どんな物よりも温かみがありました。中でも論語の本は今でも手元に置き、人生の糧としております。他にも、ニュースを読むとき、カラオケに行くとき、手紙を書くときなど日々点字を愛用しています。情報入手にも読書にも、点字が欠かせません。私にとって点字は、世の中とつながり、心を動かしてくれる大切な伴侶です。

そんな「点字マニア」の私にとって、この仕事は天職だと思います。優しいボランティアの方々、先輩方に囲まれながら学ぶ毎日は、とても充実しています。これからも、点字使用者であることを強みとして日々精進してまいります。

最後になりましたが、点字図書製作にご協力いただいているボランティアの皆様に、深く感謝申し上げます。引き続きのご指導を、よろしく願いいたします。

拡大掲示板

「灯友会」バザールが9月6、7日に開催

今年も、日本ライトハウス後援会「灯友会」のチャリティバザールが、当館で開催されます。新鮮な野菜や特産品など、掘り出し物が多数。

収益金は、盲導犬育成事業の支援金として当法人に寄附されますので、ご来館のついでに

ぜひ、お立ち寄りください。

日時 9月6日(金)12時～16時30分、

7日(土)10時～14時

※7日は品物が売り切れ次第終了。

場所 当館4階会議室

販売 昆布・鰹節などの乾物、野菜、パン、クッキー、ハンドソープ等

当館の事業を支えるボランティア活動①「点訳ボランティア」 ～読みやすい点字図書・雑誌を作り続ける～

皆さんは、館内のボランティア活動の種類をどれくらいご存知ですか。エレベーターから覗いたことはあるけれど、中でどんなことをしているかはよくわからない……という方も多いのではないのでしょうか。当館には、製作・サービス・総務の3つの部署があり、500人を超えるボランティアの方々に支えられて事業を行っています。各部署でのボランティア活動について、順に紹介していきたいと思います。(点字製作係主任 木田陽子)

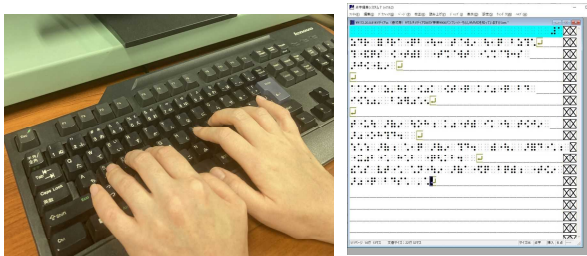
第1回目のご紹介は、点訳ボランティアです。活動場所は、当館の8階です。

当館はもちろん、全国の点字図書館でも最も歴史のあるボランティア活動で、現在は約120人が、貸出用の図書・雑誌、利用者からプライベート依頼のあった資料、教科書などの製作に携わっています。英語、東洋医学、楽譜、算数・数学、古文などの点訳チームもあり、以前から専門書の点訳が盛んでしたが、最近では漫画などの新しい分野にも取り組んでいます。

◆点訳図書は、次のような流れで作られます。

①点訳する原本を、職員から受け取る(点訳者の割り振りは職員が行っています)。

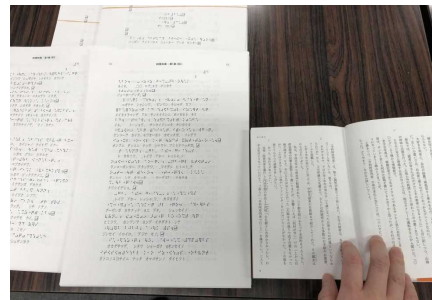
②自宅で、パソコン+専用ソフトウェアで点訳。専用ソフトでは、キーボードのF・D・S・J・K・Lの6つのキーを、両手の人差し指・中指・薬指で同時押しする「6点入力」という方式で、点字を1文字ずつ入力します。マウスを使って「点図」(触ってわかる図)も作成します。



6点入力の様子(左)と専用ソフトの画面

③週に1日、点訳したデータを持って来館し、一般的な墨字のプリンターで墨点字(平面状の黒い点字)として印刷。

④2人1組になって、1人が墨点字を読み上げ、もう1人が原本を確認する「読み合わせ校正」を行います。何組かが同時に行うので、日中の8階はけっこう賑やかです。



「読み合わせ校正」に使う墨点字と原本

⑤後日、間違いを修正したものを、④とは違う校正者が、1人で校正します。

⑥最後に職員がチェックして完成。打ち出し、製本してアルテ別館の書架に並べるほか、データを「サピエ図書館」に登録して、全国の点字・公共図書館、利用者にも提供します。

◆日本語の点字は、漢字を使わず仮名書きするため、読みやすくするためマス空けをする「分かち書き」という規則があります。点訳ボランティア講習会で、その規則を修得します。

活動中の方に「大変だなあとと思うこと」をお尋ねしたところ、答えは圧倒的に「調べもの」でした。確かに、漢字の読みがわからないと点字にできません。ただ、「下調べがきっかけで新しい知識を得た時はとても楽しい」というお声もありました。そのほか、この活動をして良かったこととして、「普段自分が読まない本を担当すること」、「点訳した本を利用者に読んでもらえること」、「社会貢献できていると感じること」、などのご意見がありました。

当館製作の児童向け点字雑誌『アミ・ドゥ・ブライユ』を読んで、手書きの点字で感想を送ってくれる子どももたくさんいます。これからも、点訳ボランティアの方々と共に、点字文化と点訳技術を継承していきたいと思います。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2024年6月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点字製作 ♣

6月分完成点字図書

10タイトル37冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

親を見送る喪のしごと

(横森理香) 3冊

点:田端弘美

校:辻野純代 宗像真李子

「逆張り」の研究

(綿野恵太) 4冊

点:永吉ひとみ

校:G校正 橋詰玲子

急増する「首下がり症」どう防ぐ、

どう治す(遠藤健司) 2冊

点:工藤京子

校:G校正 橋詰玲子

知らないと怖いカラダの

新常識100(川嶋朗監修) 3冊

点:塚本紀子

校:辻 志津江 宗像真李子

そろそろタイムマシンで未来へ

行けますか?(齊田興哉) 3冊

点:永藪直子

校:G校正 宗像真李子

たった独りのための小説教室

(花村萬月) 4冊

点:吉田裕美子

校:澤田祐子 大安徹雄

橋詰玲子

T島事件(詠坂雄二) 5冊

点:宮本洋子

校:G校正 橋詰玲子

動物たちの心の科学

(M・ベコフ) 5冊

点:栗栖 忍

校:G校正 平野 健

米朝落語全集第4巻

(桂米朝) 6冊

点:待田敏彦

校:糸山武博 加尾美千子

混ぜるだけサラダとさっと煮る

だけスープ(河井美歩) 2冊

点:佐藤明子

校:G校正 橋詰玲子

学校教材

【中学校】

新しい技術家庭 家庭分野 15冊

木虎真紀

新しい技術家庭 技術分野 17冊

土橋貞子

新しい社会 公民 24冊

点:岩本幸子 大安徹雄

木虎真紀 鴻上真理

越川由美子 前田美代子

新しい保健体育 17冊

乙訓点訳サークル

現代の書写 1・2・3年 4冊

乙訓点訳サークル

中学生の地理 25冊

奥村純子

中学生の道徳3年 3冊

山原瑞穂

中学生の道徳3年 ノート 1冊

山原瑞穂

中学生の歴史 2冊

松本稔子

♠ 録音製作 ♠

6月分完成録音図書

13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

「足指」の力 体の不調がスッと

消える3分つま先立ち体操

(山田真) 4:49

音:大里いずみ

校:前田元子 浜本裕子

編:羽淵雅子

江戸のキャリアウーマン

(柳谷慶子) 12:12

音:杼村明子

校:高梨智子 吉田典子

編:辻野玲子

オンライン脳(川島隆太) 4:20

音:島田悦代

校:三原佳子 松井喜美代

編:山崎千代子

かたちには理由がある

(秋田道夫) 3:03

音:片畑令子

校:下山とよみ 浜本裕子

編:地上博子

関西の私鉄格差(新田浩之) 6:59

音:坪田捷子

校:高岡博子 松井喜美代

編:山崎千代子

「国の借金は問題ない」って本当

ですか?(森永康平) 11:37

音:岩田真智子

校:久保洋子 浜本裕子

編:前田元子

子役のテレビ史(太田省一) 8:38

音:嶋津美香

校:辻野玲子 松井喜美代

編:植田美穂子

自分を受け入れるスヌーピー

(C・M・シュルツ) 3:47

音:中原尚子

校:西田芳美 脇本登志子

編:山崎千代子

社会のストレスとこころ

(手塚千恵子) 6:23

音:金井典子

校:久保洋子 松井喜美代

編:吉川順子

中国パンダ外交史

(家永真幸) 9:07

音:片畑令子

校:和田ゆう子 松井喜美代

編:畑 豊弥

ボイステック革命

(緒方憲太郎) 6:54

音:坂本雪枝

校:田中恵子 松井喜美代

編:小林万智子

「マスゴミ」って言うな!

(斎藤貴男) 7:15

音:滝野昭子

校:石原英子 松井喜美代

編:岩田真智子

ルポ名門校

(おおたとしまさ) 18:20

音:矢切素子

校:柳本絹子 岡村佳子

松井喜美代

編:寺下千秋

◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2024年7月号

発送:木下正義 中島小夜子

中島千恵 西垣泰子 山田一弘

『読書』2024年7月号

デジ版 1:16

音:寺下千秋 校:下山とよみ

発送:井川倭文子 板波キミ

並木昌子 宮崎ナオヨ 宮野興子

『JRニュース』2024年7月号

点字版 3冊

点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～芸人と言う

勿れ。読書芸人のお薦め本』

2024年7月号

デジ版 0:14

音:寺下千秋 校:下山とよみ

『子供の科学』2024年5月号

デジ版 3:23

音・校・編:グループ汐(ゆうしお)

井駒多津子 岸田素子 澤田美那子

寿田禮子 土井明美 宮 清子

吉田 薫

『サイエンスかわら版』2024年5月号

デジ版 4:03

音・校・編:情報文化センター

「理数チーム」

岩田真知子 大桑久美子 金井典子

河原真知子 北川温子 木村純子

福島博子

『日経パソコン』

2024年6月号 デジ版 3:37

音・校・編:情報文化センター

石井那智子 岡村佳子 桂 公子

金井典子 北川温子 木村純子

上月直子 小林幸子 小林万智子

小森佳津子 佐山敦子 嶋川真理子

下山とよみ 寺下千秋 寺田美枝子

西村郁子 二宮真理 橋本万里

畑 豊弥 平田恵美子 福島博子

前田元子 水谷和子 溝渕久美子

目連雅子 森口慶子

『英語よもやま通信』2024年7月号

デジ版 2:19

音・校・編:情報文化センター

「英語チーム」

伊東晴子 中島 睦 中島美穂

中原尚子 西田芳美 西和田恵子

弘津千加子 眞津野秀子 山本 香

『鍼灸柔整新聞』デジ版

2024年5月25日号 1:20

2024年6月10日号 1:42

音・校・編:情報文化センター

「東洋医学チーム」

荒木良子 岩崎千佐子 植田美穂子

大坂陽子 金井典子 川端砂代子

片岡珠子 濱名あきよ 前川裕子

前田元子 渡辺一枝

『週刊新潮』デジ版

◆2024年6月6日号 9:06

榎原真理 奥田和美 音無幸子

加藤洋子 上田啓子 河原真知子

衣田智恵美 木村加代 後藤泰子

正田潤子 中村千賀子 中村直美

中本和代 西田文子 野村美穂子

兵頭つね子 深津綾子 福田佳代

藤原雅子 丸岡秀子 森嶋美穂

編:中本和代

◆2024年6月13日号 9:59

青木昌美 畔田文恵 稲田至功子

今井文子 上原多美子 榎戸素子

大橋恵子 大屋邦代 岡崎節子

奥田かおり 小倉るり子 加藤和夫

上村裕子 神谷勉子 河村喜代

木下ゆかり 久保諄洗 阪本由美子

佐藤公平 澤井 稔 鈴木恵子

伊達弘美 地上博子 寺下千秋

永井憲子 長谷川寿子 濱 洋一

林 由子 福井栄子 光成明子

八十嶋敦子 山下幸子 山本スズ子

湯浅里美

編:大島幸枝

◆2024年6月20日号 9:46

荒木節子 岩谷友子 太田貴子

越智真弓子 帰村千恵 阪本美代子

清水百世 新熊美衛子 高久俊子

田渕浩子 寺西竹子 成田次雄

成田由起 西村道子 西山トシ子

西山宏実 直場徳宥 橋本明子

服部秀美 前田元子 松原和子

山下 豊 山田栄利子

編:デジ版大阪

◆2024年6月27日号 9:45

有川美津子 石原晶子 井上真子

岩谷京子 大久保美弥 大坂陽子

大塚しづ子 岡崎節子 上村裕子

神谷勉子 川添美智子 川端砂代子

川本くるみ 北元直子 久下悦子

小池雅子 國分清子 佐藤公平

阪本美紀 澤井 稔 嶋津美香

地福延代 鈴木栄二 高田雅子

高橋孝子 高山広美 武市敦子

竹内清子 立川有紀子 玉置明美

田宮加代 坪田捷子 富田久美子

西岡千代子 西田千波 橋村恵子

濱 欣子 兵頭賢一 平田恵美子

廣田あけみ 弘津千加子 松浦洋子

和布浦眞里子

編:西村道子

◆新潮音訳協力グループ

八幡市民図書館朗読ボランティア

サークルよむよむ

奈良県視覚障害者福祉センター

「草笛会」

グループN-BUN

デジ版大阪

【お詫び】前号で、録音ボランティアの濱名あきよさんのお名前を誤って掲載しておりました。お詫びして訂正いたします。

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

For Tomorrow 1冊

点:塚本紀子 校:田中伸子

「金平糖」第183回 短歌サロン 1冊

点:待田敏彦 校:若林安也子

さよーならまたいつか! 1冊

点・校:田中伸子 辻野純代

橋本和代

箏曲楽譜 宮城道雄作曲集

(宮城道雄) 2冊

点・校:岩本幸子 奥村純子

鴻上真理 前田美代子

紡ぎ音 1冊

点:辻野純代 校:田中伸子

録音図書

ミュージカル「Xcalibur エクス
カリバー」 2:00

音・編:岩崎千佐子

神の探求2(E・ケイシー) 8:09

音:外園朝代 校:山中真理子

🎧 館内お手伝い 🎧

図書・情報サービス

板波キミ 上田敬子 片岡忠克

木村謹治 帰村千恵 京村禎子

小寺高子 田間泰子 塚本紀子

逸見恵子 待田敏彦 宮嶋昌代

森本益子 渡邊洋子

[茨木市バラの会]

堂 晴美 高見澤央子 吉田 充

岡 玄子 細川恵三子

整理・情報サービス

板波キミ 鱗星千恵子

逸見恵子 渡邊洋子

電子書籍

池尻三千子 西村佐世子

館内作業

井上恵子 江島理枝 佐野真理

◆6月の貸出実績

点字 168tl DAISY 2861tl

テープ 7tl

★6月の人気貸出図書★

(当館製作図書。順不同。)

【点字図書】

神さまと神はどう違うのか?

(上枝美典)

血管の老化は「足」で止められた

(池谷敏郎)

逃げまくった文豪たち

(真山知幸)

物理学の原理と法則(池内了)

【録音図書】

あっぱれ毬谷慎十郎 7(坂岡真)

「裏切りの近現代史」で読み解く

(保阪正康)

大江戸の娯楽裏事情

(安藤優一郎)

便秘の神様(長井佳代)

★ 電子書籍 ★

◆テキストDAISY図書

<必要>から始める仕事おこし

「協同労働」の可能性

テキスト化:新井 充 中村宏子

DAISY編集:新井 充

MONTHLY “日本一”明るい

経済新聞6月号

テキスト化・DAISY編集:

越智真弓子

産経新聞 産経抄

2024年6月1日～6月15日

テキスト化:池尻三千子

木原富子 佐藤久子

千徳節子 西村佐世子

産経新聞 産経抄

2024年6月16日～6月30日

テキスト化:池尻三千子

西村佐世子

🎧 対面リーディング 🎧

青木幹雄 秋本直美 池本滋子

上ノ山禎子 後 恵子 大坂陽子

大島幸子 大西裕恵 岡崎節子

奥 幸子 桂 公子 古賀和子

鈴木栄二 高橋由紀江 田那辺優子

中本由美 野口令子 藤本郁子

細井昌子 堀内真里 増尾明子

眞野祥子 南 礼子 向井民子

森田幸子 森田 隆

6月 利用者8人・26件

『対面リーディング通信』編集

伊東晴子 木村謹治 澤井 稔

細井昌子

🎧 音声解説 🎧

(ボイスぶらす)

◆上映協力

わろう座映画体験会

「はい、泳げません」(6月28日)

尾崎一恵 鹿津直美 中嶋真弓

中村京子 那須由美子 西川真知子

廣野美代子 藤井倫子

☒ パソコンサポート ☒

(ボイスネット)

【6月実績】

週報:和田眞由美

HP更新:中条正信

* ご 寄 附 *

田添禮雄・信子

(敬称略をご容赦下さい)

《一ツ橋総合財団助成事業》

アクセシブルな電子書籍、
シネマ・デイジー等、当館の
先端的なメディアは公益財団
法人一ツ橋総合財団のご助成
により製作されています。

人事異動のお知らせ

当館サービス部機器・用具係の岡本昇職員が、一身上の都合により7月15日付けで退職しました。岡本職員は、長年、サービス部の「エンジョイ！グッズサロン」で情報機器の購入・相談、サポートに従事しましたが、2011年から6年間、録音製作係の主任として録音図書・雑誌の製作にも携わりました。当館の職員では唯一の盲導犬ユーザーで、3代の盲導犬(初代ヴィオラ、2代目カリム、3代目フィン)と共に盲導犬の啓発・普及にも尽力しました。



【その他の人事】

採用：川嶋健太 6月16日付けで製作部点字製作係に触読校正者として採用

登用：江島英夫 7月1日付けでサービス部機器・用具係正職員に登用

「音声版選挙公報製作研修会」に参加

日本盲人福祉委員会の視覚障害者選挙情報支援プロジェクト・音声版部会(当館が事務局を担当)による「音声版選挙公報製作研修会」が5月17日と6月21日に開催され、当館から数又幸市製作部長、白坂マナミ主任(デイジーユニット)らが参加しました。サンプル音源を使った実習では、読みの順序、固有名詞や選挙公報特有の言葉の読み方、表記通りに読むだけでは意味が伝わらない箇所の処理など、気付いたことを一人ずつ発表。音声だけで情報を伝える難しさを改めて感じました。

当館では、毎回、多くの音訳者の方にご協力いただきながら、比例区と複数の選挙区のマスターデータを製作しています。今後も、品質とスピードのバランスを取りながら、全国の視覚障害の方々に、音声版選挙公報を届けて参りますので、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



感謝報告(続き)

ボランティア友の会世話人会報告

7月11日(木)13:00~14:30

出席者：梶原 阪本 嶋林 平田 廣野 向井

山田 中安(館から久保田 谷口 徳嶋)

<館からの報告>

- ・チャリティコンサートのご報告と御礼
- ・人事異動について(左に掲載)

<協議事項>

- ・ガイド体験会の振り返り
- ・施設見学会の検討

<次回> 9月12日(木)10:30~

あゆみ

【7月】

- 10日 専門音訳講習会「図表コース」開講
- 11日 ボランティア友の会「ガイド体験会」ボランティア世話人会
- 20日 オープンデー(館内見学日、8人)

予定

【8月】

- 8日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)
- 10日~15日 全館夏期休館
- 16日 サービス部休室
- 22日午後 全館休館(当法人職員全体会)
- 24日 専門点訳講習会「はじめての理数系教材点訳コース」開講

【9月】

- 3日 点訳ボランティア養成講習会(中級)開講
- 6~7日 灯友会(当法人後援会)バザー(4階)
- 7日 オープンデー(館内見学日・要予約)
- 12日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)ボランティア世話人会
- 14日 6階・7階・電子書籍休室(敬老の日の振替)
- 17日 サービス部休室(敬老の日の振替)
- 18日 音訳ボランティア養成講習会(2)開講
- 21日 製作部休室(22日の振替)
- 24日 サービス部休室(22日の振替)

編集 足の数が2本未満又は5本以上の生き物
後記 がダメな私。でも半年前に現れたハエ取りグモだけは同居を許しています。2mも離れて消えそうな声で威嚇するうちの猫が面白いので。(文)

ワンブックワンライフ
ONE BOOK ONE LIFE 2024年8・9月号

発行 社会福祉法人日本ライトハウス

情報文化センター(館長 久保田 文)

住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)

TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095

E-mail info@iccb.jp

表紙絵 かたおか朋子

発行日 2024年8月1日

定価 1部100円 年間購読料1,000円

公式SNS



X(旧Twitter)



Instagram



Youtube



Podcast